

令和4年度補正予算「品目団体輸出力強化緊急支援事業」報告書

1. 事業実施者名：一般社団法人青果物輸出促進協議会

(会員名：株式会社日本農業)

2. 実施国名（地域名）

マレーシア

3. 背景

日本産かんしょにとって、マレーシアは今後より開拓すべき輸出マーケットであるため、弊社にとってもそのマーケットの更なる拡大に寄与することは輸出5兆円の目標達成にあたり大変重要である。

マレーシアにおいて、日本産かんしょの購買意欲をより一層高めるため、消費者を対象としたプロモーション活動を行った。

4. 内容

(1) プロモーション

- ① 品目名：かんしょ
- ② 実施期間：2024年3月1日～3月31日
- ③ 店舗名：Jaya、Village、BIG PUBLIKA、ISETAN、The Food Merchant、WCity
- ④ 概要：

・店舗における商品の説明及び焼き芋の試食提供

成果：

日本産を強く押し出すため、パッケージに富士山やイメージカラーの青を使用したことで、消費者に印象を強く残すことができた。

マレーシアでは、隣国のインドネシア・ベトナムからかんしょの流入量が多く、多くの芋がある。既に焼き芋の認知があり、どの程度の甘さがあるのかを知った上での試食であるため、日本産かんしょの中でも差別化を打ち出す必要があることから、焼き芋に適した品種である紅はるかを使用し、多くの方に「おいしい」と言っていただき、購入につなげることができた。

現在、マレーシアのマーケットにおいて、日本産かんしょが占める割合はまだ小さく、今後の伸びしろが大きい。今後ともこのような地道なPR活動を継続することにより、日本産かんしょのマーケット拡大に貢献したい。

今後の課題・改善点：

マレーシアは、アジアの中でも焼き芋人気が高く、ライバルが多い国の一つである。このため、今回のパッケージの使用等により、他国産との差別化を行っていききたい。また、試食用の芋の輸送中に発生するロスを最小限にするため、梱包の方法やキズのない芋を持ち込む方法等、工夫していききたい。

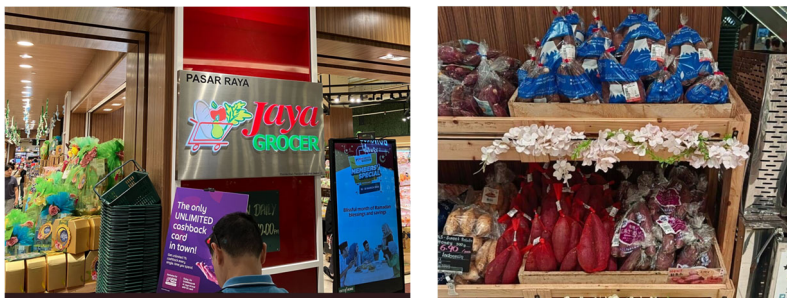
5. 活動写真

(1) 店舗における商品の説明及び焼き芋の試食提供

①BIG(スーパー名), Publika 店



②Jaya Grocer Pasar Raya 店



③Village



以上